改憲・戦争阻止！大行進 全国ニュース

5月号
2026
No.17

【連絡先】千葉県千葉市中央区要町2-8 動労千葉気付／東京都台東区元浅草2-4-10 五宝堂ビル5F　毎月1回 15日発行
TEL.080-6053-1751（本山）　kaikensoshi_daikoushin@yahoo.co.jp　頒価100円

6・14首相官邸へ実力デモを

イラン侵略戦争―中国侵略戦争阻止！トランプ・高市たおそう！

洞口朋子　大行進呼びかけ人 杉並区議会議員

6・14芝公園での集会と首相官邸に向かっての怒りの大デモへ、全国から大結集を訴えます！とりわけ女性・青年・学生のみなさん！高市政権の改憲・戦争を本気で止める闘いは、アメリカ帝国主義の中国侵略戦争・世界戦争を止める闘いと一つです。日本から巨大な反戦デモを巻き起こそう！

年初からのベネズエラ、そしてイランへの侵略戦争も、アメリカ帝国主義の最大の目的は、中国スターリン主義体制の転覆です。高市の「台湾有事は日本の存立危機事態」発言も、「来春に改憲発議」が狙われていることも、殺傷能力のある武器を「同盟国・同志国」に輸出できるようにしたのも、すべてはアメリカ帝国主義が中国侵略戦争を決断し、実際に開始している中で引き起こされていることです。

戦後の世界を支配してきたアメリカ帝国主義は、その枠組みを自ら破壊して、世界第2位の中国への侵略戦争に踏み込まざるをえないところまで危機を深めています。もはや「後戻り」はありません。

帝国主義を倒す「反戦」を

日本帝国主義も、アジア唯一の帝国主義として、この戦争を「自らの戦争」「自衛隊が前面に立つ戦争」として決断しています。帝国主義とは、たとえどんなに絶望的であっても、破

滅の道であっても、帝国主義としての生き残りをかけて戦争を引き起こさなければ存続できない体制です。だからこそ、この帝国主義を倒して、私たちの手で革命を起こすことなしには、戦争を止める道はないのです。

帝国主義のもとでも「平和」が実現可能のように幻想を振りまき、実力の抵抗に一貫して敵対している日本共産党の「反戦」など大嘘です。自衛隊（自衛戦争）を容認し、日米安保を容認し、労働者人民の実力闘争を否定して、一体どうやって戦争を止めるというのでしょうか？帝国主義の「平和」とは、アジアや中東などへの侵略、虐殺、差別、搾取、抑圧の歴史ではありませんか！帝国主義のもとに生きる私たちが、今こそすべてをかけて立ち上がり、この歴史に終止符を打つべき時です。

日本は「中立国」「平和国家」などでは断じてありません。ガザ大虐殺のアメリカ・イスラエルを一貫して支持しているのが日本政府です。イランの子どもたちに爆弾の雨を降らせ虐殺している米軍は、沖縄をはじめとする在日米軍基地から出撃しています。そもそも日本はかつて台湾・朝鮮を植民地支配し、アジア2千万人を虐殺し、アジアの女性たちを軍隊慰安婦として戦時性暴力で蹂躙してきた帝国主義です。その歴史を闇に葬り去ることはできません。

女性の力で社会を変えよう

「女性活躍」などと言って、首相・高市、都知事・小池、連合会長・芳野、さらに検事総長など、女性を支配階級のトップに押し立てる一方で、圧倒的に多くの女性労働者たちを超低賃金で使い潰して、二つも三つも仕事をしなければ生きていけない、体を売らなければ生きられない、無理心中に追いやるような現実を作り出している連中が、私たちを侵略戦争に動員しようとしているのです。私たちが立ち上がれば、必ずこんな社会をひっくり返すことはできます！ 闘う中国・アジア人民―イラン・中東人民と連帯して、6・14芝公園に大結集し、首相官邸―アメリカ大使館への怒りの実力デモを一緒に闘いましょう！

昭和100年 侵略の居直り許すな！中国侵略戦争阻止！

「戦争式典」粉砕の実力デモ 4/29

4月29日、高市による改憲攻撃・殺傷兵器輸出全面解禁・国家情報会議設置法と一体で、中国侵略戦争への突進のために開かれた「昭和100年記念式典」に対して、改憲・戦争阻止！大行進の400人の部隊が怒りの実力デモ・抗議闘争を闘い抜いた。

「天皇ナルヒトも出席し、高市が式典委員長となって開かれるこの式典は何のためか。日本帝国主義の侵略と虐殺の歴史を隠蔽し、居直り、美化し、天皇を前面に押し出し、いま再び公然たる侵略国家として登場して、中国侵略戦争に突っ込んでいくための戦争式典だ。闘う中国・アジア人民と連帯し、怒りの闘いで粉砕しなければならない」（集会基調報告）。この立場で燃え上がり、デモは青年・学生・女性を先頭にヘルメット・スクラムで戦闘的に式典会場である日本武道館に迫った。デモ終了後、解散地から会場に向かって再び進撃。大量の機動隊による阻止線で行く手を阻む国家権力と激突し、一歩も退かず式典・天皇・高市－中国侵略戦争に徹底的に怒りをたたきつけた。

部隊の迫力と戦闘性に追い詰められた機動隊は、後方で抗議していた仲間に襲いかかり、「公務執行妨害」をでっち上げて不当逮捕した。絶対に許せない。この許しがたい暴力的弾圧こそ式典の正体だ。

「昭和100年」とは、労働者階級の立場から言えば、1917年ロシア革命以来の歴史的決着をかけた決戦の到来である。ロシア革命を歪曲・固定化したスターリン主義によって延命した帝国主義の支配体制が、いまや大崩壊に直面し、基軸国・米帝自身がトランプの下でその破壊者として登場し、中国侵略戦争－世界戦争に突っ込んでいる。帝国主義による世界戦争の破局か、それとも帝国主義を全世界的に打倒するかの歴史選択が問われている。

4・29闘争の激闘を突破口に、巨万の反戦闘争を切り開こう。中国侵略戦争阻止、改憲粉砕、高市打倒の6・14全国集会－首相官邸大デモに全国から大挙結集し、歴史を変える大闘争として闘おう。

「全基地撤去、安保粉砕」全国で4・28沖縄デー闘争

日本帝国主義による「沖縄売り渡し」の日であり「屈辱の日」とも呼ばれる「4・28沖縄デー」。「昭和100年式典」粉砕の闘いと一体で、「中国侵略戦争阻止、全基地撤去、日米安保粉砕・日帝打倒」の旗のもと、沖縄、福岡、広島、名古屋、札幌、香川など全国各地で闘いが取り組まれた。

「国体（天皇制）護持」のための「捨て石」作戦としての沖縄戦に続き、1947年には天皇ヒロヒト自らが米国による沖縄の長期軍事占領を提案し、1952年4月28日のサンフランシスコ講和条約と日米安保条約の発効をもって、「本土独立」と引き換えに沖縄は無制限・無期限の米軍政下に置かれた。それは、沖縄の労働者人民の基地撤去の要求と闘いを徹底的に踏みにじった1972年のペテン的「復帰」（＝「基地の島」の固定化・強化）から現在の沖縄の軍事要塞化に至る、日本帝国主義の一貫した沖縄政策である。沖縄－本土の分断を怒りをもって打ち破り、5・15沖縄闘争の爆発を！

成田軍事空港粉砕！強制収用許すな！

三里塚は大木よねさん宅への行政代執行（1971年9月）以来の強制収用を許すのか否かの大決戦に突入しています。成田空港会社（NAA）は4月、「C滑走路新設に必要な用地確保が難航（3月末時点で11・3%が未取得）」として、29年3月末の予定だった運用開始の延期（1千㍍延伸が狙われるB滑走路は1年。C滑走路は示せず）を発表しました。同時に、強制的な土地取り上げを可能とする土地収用法の適用（＝強制収用手続き）を検討していることを明らかにしました。三里塚芝山連合空港反対同盟を先頭とした全人民的な闘いによって一度は放棄せざるを得なかった強制収用を再び持ち出そうとするデタラメを絶対に許すことはできません（空港公団〔現NAA〕は93年、すべての未買収地に対する収用裁決申請を取り下げている）。

しかしこれは、敵の強さではなく弱さの表れに他なりません。強制収用は土地強奪の最後の手段＝「伝家の宝刀」と言われますが、抜かずに切る（闘争意志をくじく）のが本来の役割。実際に抜けばなまくらであったことは三里塚闘争の60年の歴史が証明しています。

中国侵略戦争阻止の決戦場

没落を極めるアメリカ帝国主義が巻き返しをかけ、中国侵略戦争を開始している情勢の中で、反対同盟農民が今なお敷地内で農業を営みながら「反戦反権力の砦（とりで）」として、成田軍事空港の完成を阻み続けている偉大な地平を今こそ全人民のものに！　改憲・戦争に突進する高市政権に抗し、国会行動・反戦デモに立ち上がる膨大な青年・女性・学生と三里塚闘争が結びつき、社会の根底的変革に向けた内乱的闘いに立ち上がることを米日帝国主義は死ぬほど恐れています。中国侵略戦争阻止の先頭で闘う反対同盟が呼びかける諸行動（6・21農楽まつり、毎月のフィールドワーク、裁判闘争、成田拡張反対署名運動、援農など）への参加を訴えます。反対同盟員・市東孝雄さんの南台農地強奪を阻止する強固な陣形を築き、強制収用攻撃を粉砕しましょう！**（三里塚現闘本部・野地川泰介）**

4・26新宿反戦デモで訴える
三里塚反対同盟・伊藤信晴さん

日本全土の出撃拠点化阻もう

4月25日、海自の強化と「複合防衛拠点」化で街丸ごとの軍事拠点化が進む呉（広島県）で反戦デモと基地への抗議行動が闘われた（写真右）。イラン侵略戦争・大虐殺の直接の出撃拠点である横須賀では、米海軍基地ゲート前で4～5月毎週抗議行動が闘われている（写真左）。米空母打撃群を持つ米海軍司令部と、海自司令部が隣接する横須賀は、中国侵略戦争の最大の拠点である。沖縄－日本全土の侵略出撃拠点化を実力で粉砕する反基地闘争が決定的だ。

5月17～22日、「陸上総隊演習（南西）」が沖縄・南西諸島を中心に行われる。民間インフラを使った機動展開・物資輸送を軸にした、中国侵略戦争の作戦に沿った実戦訓練だ。対中国作戦＝EABOの中心部隊である米海兵隊の12MLR（海兵沿岸連隊）も参加する。

宮古島での訓練には米軍が初参加し、日米共同調整所開設が狙われている。石垣島には88式地対艦ミサイルを輸送して実動訓練が、与那国島では無人偵察機の訓練などが行われる。「復帰54年」5・15沖縄闘争過程のこの演習を、沖縄闘争の爆発で粉砕しよう。

4～5月にフィリピンで実施された米比中心の多国間演習では、自衛隊が初めて本格参加し、陸自水陸機動団（日本版海兵隊）は離島防衛の実弾射撃訓練も行った。自衛隊の侵略軍隊化が激しく進んでいる。

高市の中国侵略戦争突進の下で、自衛隊内の矛盾は極点に高まっている。一方では、幹部候補生学校出身でえびの駐屯地（宮崎県）所属の3等陸曹による中国大使館への侵入・襲撃未遂事件、自民党大会への自衛隊員参加・国歌斉唱など幹部の極右・排外主義的純化が進み、他方では日出生台演習場での戦車爆発・死亡事故に示されるように一般隊員を徹底的に犠牲にし使い捨てにしている。真の敵＝帝国主義打倒への決起を訴え、反基地闘争を闘おう。

中国侵略戦争のための改憲・戦争国家化を許すな！

「時は来た。憲法改正に向け、国会においては結論のための議論を進めていく。**改正の発議**についてなんとかめどが立ったと言える状態で来年の党大会を迎えたい」（4月12日の自民党大会で）
「**国会では決断のための議論**を進める」（5月3日の改憲派集会で）

安保3文書の年内改定と改憲は、日本帝国主義がアメリカ帝国主義と共に中国侵略戦争に突入するためである。4月21日には武器輸出の全面解禁に踏み切り、23日には国家情報会議設置法案が、28日には入管法改悪案が衆議院を通過した。改憲・戦争国家化に突き進む高市政権への怒りの闘いを！ 6･14全国集会―首相官邸への大デモに集まろう！

改憲／戦時独裁体制を狙う「緊急事態条項」

高市は4月12日の自民党大会で、「立党から70年。時は来た。改憲の発議について、何とかめどが立ったと言える状態で来年の党大会を迎えたい」とぶち上げた。

4月23日、衆院憲法審査会が開催され、「緊急事態条項」についての集中討議が行われた。「自然災害や感染症蔓延、武力攻撃などの緊急事態」に選挙が困難になるという口実で、国会議員の任期延長や**内閣の権限強化**を図ろうとするものである。

権限強化の核心は、**法律と同等の効力を持つ「緊急政令」を発令する権限を内閣に与える**というものだ。例えば「集会デモの禁止、違反すれば懲役3年」というような緊急政令を発して弾圧することができてしまう。

すでに条文案づくりの段階に

この審査会で与党筆頭幹事の新藤義孝（自民党）が、「次回の審査会で具体的なイメージ案を明らかにしたらどうか」と提案、維新の会も同調した。その後、5月中旬までに衆議院の事務局が条項のイメージ案を作成し、それをもとに討議を進めていくことで与野党が合意したという。

改憲発議のためには、衆参両院で3分の2以上が賛成しなければならない。衆院で与党は4分の3の議席を確保したが、参院で与党は過半数割れ、改選は2028年7月である。したがって高市は、国民民主党などを取り込んで、発議への流れを本格的につくろうとしている。5月3日の改憲派の集会に参加した国民民主党の玉木は、憲法審査会に条文起草委員会を設置することを主張したうえで、「議論が積み重なってきたのは緊急事態条項だ」と同条項創設の発議を優先する考えを示している。

改憲攻撃の核心は「自衛隊（国防軍）明記」「9条2項削除」の9条改悪にある。だが「緊急事態条項」の創設自体が、中国侵略戦争のもとでの憲法停止、強権支配をたくらむ大攻撃だ。元首相の麻生はかつて改憲をめぐって「ナチスの手口を学んだらどうか」（2013年）と発言したが、緊急事態条項があれば何でもできるということだ。中国侵略戦争を遂行するための改憲を絶対に許すな！

安保3文書改定／侵略帝国主義への大転換

4月27日、安保3文書（**国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画**）改定の前倒し＝年内改定に向け「総合的な国力から安全保障を考える有識者会議」の初会合を首相官邸で開いた。「我が国として主体的に防衛力の抜本的強化を進める」と強調する高市は、新安保3文書で、**防衛費のGDP比3･5%～5%化（年間20～30兆円）**を柱とする「総合的な国力の強化」「新しい戦い方」「継戦能力・防衛産業基盤強化」を前面に打ち出そうとしている。

政府与党が検討する防衛装備品の供給力向上案

高市は同会合で「**このたびの3文書改定は、国家の命運を左右する重要な取り組み**」と強調し、「**一刻の猶予もなく**、我が国の抑止力と対処力を強化する必要がある」「日本の総合的な国力を徹底的に強くしていく」と宣言した。

会議メンバーの一人である元統合幕僚長・山崎幸二は「ウクライナの最大の教訓は総力

戦の重要性だ。国や地方公共団体、民間組織、そして国民が有事に一体となって活動できるような社会の強靭性の強化について検討しなければいけない」と述べた。**中国侵略戦争を長期にわたって戦う継戦能力を確保するため**に、国家のあり方を根本的につくり変えようとしている。そのためには、**国家総動員体制**の構築が必須だと迫っているのだ。

さらに、国家安全保障戦略から「非核三原則を堅持するとの基本方針は今後も変わらない」との文言を削除することで、**「非核三原則」を解体**することも狙われている。高市は公然と「『持ち込ませず』は『米国の拡大抑止の提供』を期待するのであれば現実的ではない」と主張。政権幹部も「日本は核兵器を保有すべきだ」と発言している。**原子力潜水艦の保有**も公然と狙っている。日帝は「敗戦帝国主義」としての制約をあらゆる面で打破し、侵略戦争のできる帝国主義へと全面的に転換しようとしている。

安保3文書の改定は年末だが、実際には6月中に閣議決定される「骨太方針（経済財政運営と改革の基本方針）」に安保3文書の改定内容が盛り込まれ、今夏の予算概算要求に反映される。6･14闘争が決定的になる。

武器輸出全面解禁／戦争中の国に殺傷兵器も

4月21日、武器輸出を規制する「防衛装備移転三原則」の運用指針を改定、輸出の目的を「救難・輸送・警戒・監視・掃海」に限るとしてきた「5類型」を撤廃し、戦闘機や護衛艦、潜水艦など殺傷・破壊能力のある武器の輸出を全面的に解禁した。同時に「三原則」の改定も閣議決定し、「**共通の装備品を運用する同志国等を増やし、強固な防衛産業を保持し、拡大することは、有事に必要な継戦能力を支える生産能力を国内で確保する上でも大きな意義を有する**」と記した。重大なのは、**戦争中の国に向けても「特段の事情」があれば殺傷武器すら輸出できる**としたことだ。

問題は、日帝が「死の商人」になることを許すかどうかのレベルではない。日帝は、経済の軍事化を含めた国家と社会のあり方の抜本的転換に踏み出しているのだ。戦時下での一線を越えた攻撃に対して、帝国主義のもとでの「平和」や「護憲」を求めても戦争は止められない。戦争の元凶である帝国主義を打倒する反戦闘争に立ち上がることが必要だ。

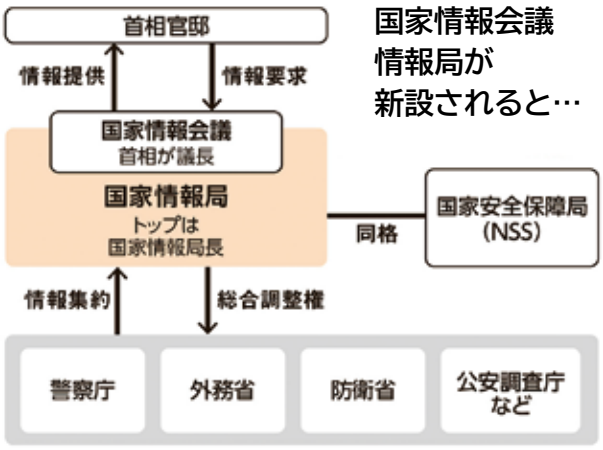
国家情報会議設置法／反戦闘争の弾圧狙う

国家情報会議設置法案が4月23日、衆院を通過した。同法案は、**国家情報会議を内閣に設置**し、そのもとに内閣情報調査室を格上げした**国家情報局**を置いて、**諜報（ちょうほう）活動の司令塔**にするというものだ。高市政権はこの法案を今国会で成立させ、今年7月にも国家情報会議と国家情報局を発足させる方針だ。また、これとセットの**スパイ防止法**を2027年度中に制定することを狙っている。

高市らは「外国勢力から日本を守る」と叫ぶが、攻撃の対象にされるのは戦争に反対する労働者人民の闘いだ。国際連帯を貫く反戦の訴えは「外国による工作の影響を受けた偽情報」とみなされ、闘いの担い手は「外国のスパイ」として弾圧される。反戦闘争と革命の圧殺がこの攻撃の最大の目的だ。

自民党と日本維新の会の連立合意書は「**27年度末までに独立した対外情報庁（仮称）を創設する**」と明記した。**「対外情報庁」のモデルは、アメリカの中央情報局（CIA）やイギリスの秘密情報部（MI6）、イスラエルの情報機関モサド**だ。南米や中東など世界各国で、米帝の支配を貫徹するために、非合法のスパイ活動、秘密工作、諜報活動を展開し、労働組合弾圧や政権転覆のクーデター、帝国主義侵略戦争を支えてきたのがCIAだ。「スパイ防止」や「インテリジェンス強化」の名で、こうした軍事行動にも踏み込んでいくのだ。

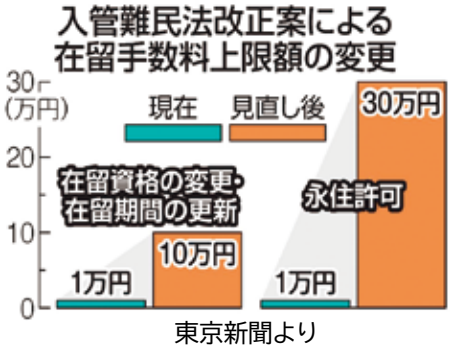
反戦闘争の圧殺が国家情報会議設置法案の核心的な狙いである以上、中国侵略戦争阻止の反戦闘争を万余の規模で巻き起こすことが最大の反撃になっていく。国家暴力に立ち向かう、大結集と大デモの力で6･14闘争を爆発させよう。（川添）



国家情報会議
情報局が
新設されると…

「不法滞在者ゼロプラン」粉砕！排外主義の入管体制を許すな！

高市政権は排外主義の外国人政策を推進し「外国人の受け入れ・**秩序ある共生社会実現に関する総合的対応策**」を1月に閣議決定した。それは①「出入国在留管理制度の適正化」②「土地取得等のルールのあり方を含む国土の適切な利用及び管理に向けた取り組み」というものだ。



東京新聞より

戦時体制下の「強制送還」強化

この対応策の最重点課題が、昨年5月入管庁が公表した「**『国民の安全・安心のための不法滞在者ゼロプラン』の強力な推進**」である。難民認定期間の半減、強制退去を拒む送還忌避者半減などの目標を掲げている。その**核心は退去強制＝強制送還の強力な推進**である。まさに「煮て食おうと焼いて食おうと自由」の入管体制の本質むき出しの政策だ。これと軌を一にして、すでに改悪入管法が昨年6月に施行され、仮放免中の難民申請者の強制送還が激増。これと一体で極右排外主義者によるクルド人や在日朝鮮・中国－アジア人民への襲撃が激しく煽られている。

さらに対応策は、日本国籍取得・永住許可審査の厳格化、電子渡航認証制度JESTA導入、退去強制事由拡大、また医療費不払情報の収集対象拡大や税・国保料のマイナンバー情報と在留審査への活用、外国人学校・外国人留学生の管理強化、公営住宅入居者の国籍把握などをあげている。そのために、在留手数料上限額の大幅値上げ案も盛り込んだ入管難民法改悪案が4月28日に衆議院を通過した。

また昨年6月の入管法改悪で、技能実習制度の見直しと称して新設された「育成就労制度」と抱き合わせで永住権剥奪の要件緩和が盛り込まれた。さらに法律によらない省令の運用改悪も進められ、昨年10月から運転免許証更新時の住所確認が厳格化された。来日外国人の外免切替問題に乗じて、難民申請中の仮放免者の免許更新まで禁止されたのだ。さらに、昨年10月から在留資格「経営・管理」の資本金要件が500万円から3000万円に引き上げられ、すでに3年後の新基準適用を待たずに廃業と帰国を余儀なくされる人たちも続出している。

中国侵略戦争阻止、入管解体！

米帝のイラン侵略戦争、中国侵略戦争－世界戦争突入情勢下、帝国主義はトランプ・高市を先頭に排外主義攻撃を極限的に激化させている。**入管闘争は、入管法（出入国管理及び難民認定法）を柱とする〈差別・抑圧、分断・同化・追放〉の入管体制粉砕の闘い**だ。それは**日本帝国主義内に存在する被抑圧民族、在日朝鮮・中国－アジア人民の存在と闘いを支援・防衛する闘争であり、帝国主義の侵略戦争を阻止し、日帝を打倒する闘い**だ。

戦後革命期や朝鮮戦争下の在日人民の闘争は、スターリン主義の抑圧と制動をのりこえて日本労働者階級との結合を求めて闘われた。70年安保・沖縄闘争と入管法阻止の闘い。指紋押捺拒否闘争は入管体制の実体のひとつであった外国人登録法を撤廃に追い込んだ。さらに90年代自衛隊アジア派兵と対決して決起した、日本軍軍隊慰安婦とされた人々の闘いは日帝を追いつめ今も不屈に闘われている。すべて**帝国主義打倒を求めてやまない誇り高き存在であり、闘い**だ。

そもそも在日朝鮮・中国人民は、日帝のアジア侵略と朝鮮・台湾植民地支配のもとで強制連行され、渡航を余儀なくされ、戦後の南北分断と朝鮮戦争、中国・台湾の分断など、米帝と日帝の戦後アジア支配の下で定住化し在日となった人びとだ。

アジア人民・在日人民と連帯し

さらに70年代中期以降の急速なアジア侵略の下、中国をはじめアジアの労働者人民が職を求めて日本に大量渡航してきている（その本質は現代の強制連行）。政府は昨年12月、外国人労働者の受け入れ数の上限案を発表した（26年度から3年間で123万1900人）。だが日帝・高市政権は在留資格を不安定なままにして安価な労働力としてアジアから労働者を大量に導入し、同時にいつでも強制排除できるようにしている。その目的は**中国侵略戦争とそのための戦時入管体制強化**にほかならない。

2025年末の時点での在留外国人は、400万人を突破した。**特別永住者26万6896人、永住者97万7125人を含む中長期在留者385万8499人を合わせて412万5395人の外国籍の労働者人民や留学生**が日本で生きている。彼らは入管法・入管体制下での差別・排外主義に怒りをたぎらす存在であり、日帝の侵略戦争と植民地主義に絶対非和解の存在だ。

日本の労働者階級人民は、彼らの存在と闘いを支援防衛し、入管体制粉砕へ全力で闘おう。闘う中国・アジア人民と連帯して中国侵略戦争突入を絶対に阻止しよう。6･14全国集会・大デモに集まろう。**（長谷川）**

戦争と弾圧への怒りで新宿反戦メーデーうちぬく

5月1日、170人が新宿駅東口広場に集まり反戦メーデーを打ち抜きました。東京労組交流センター山口代表が基調提起。4・29「昭和100年記念式典」粉砕闘争への不当弾圧を弾劾、「メーデーは国家権力の弾圧と闘う日。しかし連合は弾圧の張本人・高市首相をメーデー来賓として招いた。連合を打倒し帝国主義打倒の巨万の反戦デモを実現しよう」と訴えました。

中村仁動労千葉副委員長が1047名解雇撤回闘争勝利の決意を述べました――「国鉄分割・民営化は、当時の中曽根首相が『お座敷をきれいにして立派な憲法を床の間に安置する』と改憲・戦争への国家的大攻撃でした。今こそ決着をつける時です。7・16控訴審第3回裁判に向け、解雇撤回署名1000筆を集めきりましょう」。

組合破壊攻撃をはね返した動労東京環境アクセス支部、解雇と闘う動労連帯高崎・木村洋一書記長がアピール。東京西部ユニオン・マツオインターナショナル分会はスト報告と共に「労働者の怒りを侵略戦争に突き進む帝国主義打倒へ」と発言。労組交流センター東京女性部は、「激化する女性差別に怒る女性労働者を戦争反対の隊列へ」と決意を述べました。

「イラン侵略戦争阻止・高市倒せ」のコールと新宿駅一周デモへの声援や合流も多く、圧倒的な高揚感で打ち抜きました。6・14全国闘争・首相官邸大デモを爆発させましょう！**（東京労組交流センター・川原茂雄）**

石川一雄さん不当逮捕63ヵ年糾弾！5・23狭山闘争へ

部落解放東日本共闘会議・徳永健生

4月17日、解放共闘と水平同盟は東京高裁包囲デモと高裁要請行動に立ち上がった。家令裁判長が一切の事実調べも行わず3月に退官したことを徹底糾弾し、新たに着任した前田巌裁判長に対する糾弾闘争として貫徹。要請行動では、水平同盟杉並支部と西郡支部を先頭に13団体の要請書をたたきつけた。

この日夕方都心で狭山闘争学習会を開催し、全学連から新入生も複数参加した。講師から「石川さんのたった一人の闘いが、5人の浦和地裁占拠闘争から74年の11万人集会となった」と狭山闘争の力が生き生きと語られた。新入生から狭山事件の背景をめぐる質問や、「労働組合が反差別の闘いをやっていいんだ」と動労千葉の狭山決起への感動が出された。

イラン侵略戦争、米日の中国侵略戦争突入情勢の激化の中、狭山闘争は高市政権と対決する最前線の闘いだ。トランプは「彼らは動物だ」と言ってイラン人民を大虐殺している。それは日帝が石川一雄さんに対して「部落民であれば殺人もやりかねない」「被差別部落は犯罪の温床」と死刑判決を下した論理と重なる。帝国主義は差別をあおって侵略戦争を行う。

中国侵略戦争を絶対に阻止しよう。**5・23狭山集会（18時、渋谷勤労福祉会館）＆渋谷デモ**へ大結集を！

内外情勢（4月中旬～5月上旬）

▼今国会初の衆院憲法審査会、与党などが「条文起草委員会」設置を主張（9日）
▼成田空港会社NAAが土地収用について地元自治体に説明会（10日）
▼米・イラン停戦協議、直後決裂（10日）
▼中国国家主席・習近平と台湾国民党主席・鄭麗文が北京で会談（10日）
▼自民党大会で高市が来春党大会までに改憲発議めどと意欲（12日）
▼上地常夫与那国町長が中距離地対空誘導弾部隊受け入れ表明（13日）
▼米軍が1万人体制でホルムズ海峡の「逆封鎖」開始を宣言（13日）
▼イスラエル軍がレバノン南部で侵攻拡大し150か所を攻撃（14日）
▼森衆議院議長が皇室典範改正を今国会中にめざすと表明（15日）
▼海自護衛艦「いかづち」が台湾海峡を通過（17日）
▼小泉防衛相訪豪、2兆円規模のもがみ型護衛艦共同開発契約締結（18日）
▼国会前デモに3万6千人（19日）
▼米海軍、イラン船籍貨物船拿捕（19日）
▼米比合同演習バリカタンに自衛隊1400人が初参加（20日）
▼陸自日出生台演習場で10式戦車内で砲弾暴発、3人死亡（21日）
▼防衛装備移転3原則5類型撤廃・殺傷武器輸出全面解禁を閣議決定（21日）
▼自民党安保調査会、6月にも3文書改定の党提言をとりまとめ（22日）
▼国家情報局法案が衆院通過（23日）
▼米トランプ出席晩餐会で銃撃（25日）
▼政府の「総合的な国力から安全保障を考える有識者会議」初会合（27日）
▼防衛省設置法改定案と入管難民法改悪案が衆院通過（28日）
▼連合メーデーに高市首相出席（29日）
▼政府が昭和100年記念式典（29日）
▼トランプ、在独米軍5千削減表明（1日）
▼高市首相がベトナムで経済安保重点の新外交方針FOIPを表明（2日）
▼東京有明の憲法集会に5万人（3日）
▼高市首相訪豪、アルバジーニー首相と経済安保協力推進の共同宣言（4日）
▼米比合同演習バリカタンで水陸機動団が上陸阻止訓練（4日）。同演習で自衛隊が地対艦誘導弾発射訓練実施（6日）
▼小泉防衛相・比テオドロ国防相会談で護衛艦早期輸出表明（5日）。
▼ソウルで日韓初の外務・防衛次官級協議（2プラス2）を開催（7日）

行動予定 Action Plan

■「復帰」54年5・15沖縄闘争
●5月16日（土）◎国際通りデモ 16時県庁前
◎「復帰」54年5・15沖縄集会 18時30分～沖縄船員会館2Fホール
●5月17日（日）◎嘉手納基地抗議デモ 12時30分胡屋十字路
◎勝連分屯地抗議闘争 15時陸自勝連分屯地正門前
●5月18日（月）◎辺野古現地闘争 8時30分辺野古ゲート前
◎那覇駐屯地抗議闘争 12時30分陸自那覇駐屯地正門前

■中国侵略戦争阻止！改憲粉砕！高市たおせ！5・21国会闘争
5月21日（木）11時～衆議院第2議員会館前／大行進東京

■関西狭山デモ 5月22日（金）18時30分豊崎西公園集合／全国水平同盟

■5・23狭山集会＆渋谷デモ 5月23日（土）18時～渋谷区勤労福祉会館／部落解放東日本共闘会議・全国水平同盟杉並支部

■5・23米軍横須賀基地抗議行動
5月23日（土）14時～横須賀基地正面ゲート前／大行進神奈川

■5・24星野国賠勝利！大坂正明さん奪還！全国集会
5月24日（日）13時～江戸川区葛西区民館ホール／星野大坂全国救援会

■関西女性解放学習会 5月24日（日）14時～エルおおさか本館709／関西女性反戦行動実行委員会

■イラン侵略戦争やめろ！5・24ヒロシマ反戦デモ 5月24日（日）14時原爆ドーム前集合、14時30分～デモ／8・6ヒロシマ大行動

■5・24九州狭山集会 5月24日（日）13時30分～北九州市立商工貿易会館501会議室／北九州部落解放研究会

■大坂さんを返せ！東京高裁包囲デモ
5月28日（木）12時日比谷公園霞門集合／星野大坂救援会

■「指紋押捺拒否」Part1＆2上映会 5月30日(土)12時40分～千葉市生涯学習センター地下小ホール／大行進千葉

■5・30御堂筋反戦デモ 5月30日（土）15時新町南公園集合／大行進関西

■6・2広島暴処法控訴審第1回裁判
6月2日（火）12時広島高裁前集合、裁判14時30分～広島高裁302号法廷

■6・6関西三里塚集会 6月6日（土）14時～エルおおさか／大行進関西

■イラン侵略戦争阻止！トランプ・高市たおせ！6・14全国集会・首相官邸大デモ
6月14日（日）13時～東京芝公園23号地／改憲・戦争阻止！大行進

■星野文昭・暁子絵と詩展 6月19日（金）～21日（日）10時（初日12時）～19時（最終日17時）セシオン杉並展示室／星野大坂救援会東京西部

■宮古島と杉並を結ぶ6・20講演集会 6月20日（土）18時30分～セシオン杉並展示室／星野大坂救援会東京西部

■三里塚闘争60周年6・21農楽まつり
6月21日（日）10時30分市東さん南台農地集合→デモ、12時～萩原さんの清水の畑で農楽まつり／三里塚芝山連合空港反対同盟

■7・11国鉄闘争全国運動全国集会
7月11日（土）13時30分～千葉市文化センターホール／国鉄闘争全国運動

■7・16国鉄1047名解雇撤回裁判控訴審＆東京高裁包囲デモ
7月16日（木）12時30分日比谷公園霞門集合→デモ、14時～裁判（東京高裁101号法廷）、裁判後に報告集会（日比谷図書文化館地下ホール）

闘争日誌

▼4月12日 都内開催の入管法と民族差別を撃つ入管交流集会に280名
▼4月12日 大行進関西が京都反戦デモ。大行進えひめが松山反戦反差別デモ
▼4月17日 狭山東京高裁デモ・申入れ
▼4月18日 大行進東京が渋谷・錦糸町、杉並（19日）、池袋（25日）、大井町・国分寺（26日）で沖縄反戦集会
▼4月19日 阿佐ヶ谷反戦デモに120名
▼4月19日 大行進千葉が反戦集会デモ
▼4月19日 大行進神奈川が米軍横須賀基地抗議行動（5月3日と9日も）
▼4月25日 ヒロシマ大行動と大行進呉（準）が海自呉基地にデモと申し入れ
▼4月25日 大行進神奈川が米軍相模総合補給廠抗議行動。同日、大行進北海道が札幌市内デモ
▼4月26日 JR西日本尼崎事故21ヵ年弾劾集会・デモに70名
▼4月26日 大行進東京の新宿反戦デモに190名。同日名古屋で反戦デモ
▼4月26日 在日イラン人団体よびかけの新宿駅南口集会に300名
▼4月29日「昭和100年記念式典」粉砕集会・デモに400名。1名不当逮捕
▼4月29日 4・28沖縄デー統一行動。沖縄・国際通りで反戦デモ。広島原爆ドーム前から反戦デモ。福岡で天神反戦デモ・集会。香川・善通寺でデモ・陸自申入行動。
▼5月1日 4・29不当弾圧に抗議行動
▼5月1日 新宿反戦メーデーに170名。同日、大阪と広島でも反戦メーデー
▼5月7日 高円寺反戦デモに80名

会計報告（26年4月1日～30日）

●収入	365,235
ニュース代	95,250
4.29集会カンパ等	269,685
その他	300
●支出	307,840
闘争費	163,600
4.29闘争関連	56,610
沖縄集会関連	23,870
イラン反戦と6.14	83,120
ニュース作成	65,000
事務局活動費	79,240
拡声器購入	69,000
備品その他	10,240
●3月末繰越金	854,318
●残高	911,713

「改憲・戦争阻止！大行進」運動は、大規模な反戦デモをめざして全国で取り組んでいます。
各地にも「大行進」実行委員会がつくられています。
【呼びかけ】高山俊吉（弁護士）／森川文人（弁護士、憲法と人権の日弁連をめざす会）
野本三吉（ノンフィクション作家）／洞口朋子（杉並区議会議員）
国鉄千葉動力車労働組合
ブログ https://stop-kaiken.blog.jp/
ツイッター（X） https://x.com/grandmarch2020

ブログ　ツイッター

カンパのお願い

《振込先》
きらぼし銀行
東新宿支店（071）
普通 5009268
「弁護士 森川文人」